

IT 技術者養成講座 (6/12) レポート課題 4

学番	なまえ
----	-----

1. ホワイトボックステストの説明として、適切なものはどれか。

ア：外部仕様に基づいてテストデータを作成する。

イ：同値分割の技法を使用してテストデータを作成する。

ウ：内部構造に基づいてテストデータを作成する。

エ：入力と出力の関係からテストデータを作成する。

2. 表は、あるプログラムの入力データを、有効同値クラスと無効同値クラスに分けたものである。同値分割法によってテストケースを設計する場合、最小限のテストデータの組み合わせとして、適切なものはどれか。

同値クラス	データ
無効同値クラス	-2, -1, 0
有効同値クラス	1, 2, 3, 4, 5
無効同値クラス	6, 7, 8

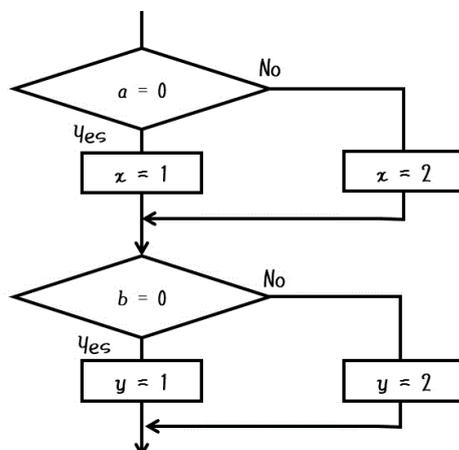
ア：-2, 0, 1, 5, 6, 8

イ：0, 1, 5, 6

ウ：-1, 3, 6

エ：1, 5

3. 流れ図で表される部分を命令網羅によってテストするとき、テストケースは少なくとも幾つ用意する必要があるか。

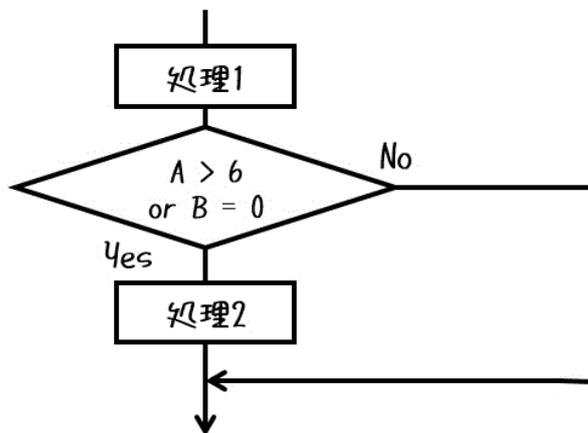


ア：2 イ：3 ウ：4 エ：5

4. プログラムの流れ図で示される部分に関するテストデータを、判定条件網羅(分岐網羅)によって設定した。このテストデータを複数条件網羅による設定に変更したとき、加えるべきテストデータのうち、適切なものはどれか。ここで、()で囲んだ部分は、一組のテストデータを表すものとする。

判定条件網羅(分岐網羅)によるテストデータ

(A=4, B=1), (A=5, B=0)



ア: (A=3, B=0), (A=7, B=2)

イ: (A=3, B=2), (A=8, B=0)

ウ: (A=4, B=0), (A=8, B=0)

エ: (A=7, B=0), (A=8, B=2)

5. ボトムアップテストの特徴として、適切なものはどれか。

ア: 開発の初期の段階では、並行作業が困難である。

イ: スタブが必要である。

ウ: テスト済みの上位モジュールが必要である。

エ: ドライバが必要である。